

ふくしまオーガニック通信

～オーガニック・ランドふくしまをつくろう～

No. 27-2

平成26年 8月11日

農業総合センター有機農業推進室
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/nougyou-centre/index.htm>
TEL(024)958-1711 FAX 958-1730
Facebook「オーガニックランドふくしま」



『有機野菜の産地見学会』に多数の実需者が参加！

農業総合センター有機農業推進室

平成27年7月28日と29日に、「有機野菜の産地見学会」を開催し、ホテルや旅館、飲食店などの関係者計13名の方に参加していただきました。

28日の中通り会場では、オーガニックふくしま安達の関元弘さん、奥山猛さん、佐藤良喜さんの3名のほ場を見学しました。

今は夏野菜が旬の時期であり、ほ場で採りたての野菜を試食し、有機栽培のキュウリの皮の柔らかさやトマトの美味しさを実感していただきました。

また、野菜は調理して提供することから、規格外品に関心を持つ方もおられました。

29日の会津会場では、あいづ有機農法生産組合の玉樹奨平さんと、喜多方ゆうきの和の大江一男さんの2名のほ場を見学しました。

定番の夏野菜のほか、イタリアンパセリや沖縄特産の島オクラ、会津伝統野菜の余蒔(よまき)キュウリなども栽培されており、興味深く話を聞いておられました。

実需者にはほ場まで来ていただき、生産者の話を聞きながら栽培しているほ場を見学いただく取組みは初めての試みでしたが、参加者には有機栽培についてより深く知っていただくことが出来たようあり、県内での有機野菜の需要や販路の拡大のためにも、このような行事を継続的に実施したいと考えています。



ほ場で説明を受ける参加者(中通り会場)



ほ場を見学している様子(会津会場)



生産者との交流

『水田用小型除草ロボット実演会』の開催

農業総合センター有機農業推進室

平成27年6月18日に、農業総合センターにおいて「水田用小型除草ロボット実演会」が開催され、約40名の方に参加していただきました。

このロボットは、岐阜県情報技術研究所とみのる産業株式会社が共同で開発しているもので、水田内をロボットがクローラで走行することによって小さな雑草を浮き上がらせたり、水を濁らすことで雑草を抑える仕組みです。

また、ロボットに備えたカメラによって稲の条を判別して自動走行が可能となっています。

実演会では、ロボットの説明・実演の後、参加者に実際にロボットを操作してもらいました。

水稻の有機栽培を実施している方は皆除草に苦労されていますので、水田に入らずに作業ができ、ある程度の価格であれば購入したいといった意見も聞こえており、早期の製品化が望まれます。



水田用小型除草ロボット



ロボットを操作する参加者

農業短大『長期就農研修（有機栽培）』が始まりました

農業総合センター有機農業推進室

今年度から農業短期大学校において、1年間を単位とする長期就農研修が開設されました。この研修は、近年増加傾向にある非農家出身者や他産業からの転職者が円滑に就農できるようにすることを目的として、栽培技術や経営技術を体系立てて学習します。

今年度は、平成27年6月1日から伊達市の樋口澄江さんが有機栽培の研修を受講しています。講義は矢吹町の農業短期大学校で受け、実習は野菜や水稻の有機栽培を郡山市の農業総合センターで学んでいます。

農業総合センター内の有機ほ場では、有機野菜の栽培管理の他、エゴマやコンニャクといった品目の栽培も実践しながら、有機栽培の技術や知識を深めています。

研修期間は1年間で、今後は芽キャベツやタマネギ、ニンニクなどの品目を栽培するとともに、ぼかし肥料作りなども研修していきます。



野菜の栽培管理をしている樋口さん

川内村で秋元さんが『有機栽培ブルーベリー園』を開園

相双農林事務所双葉農業普及所

秋元美誉さんは、川内村でアイガモを活用した「アイガモ米」を栽培しています。また、地元の小学生を田植えや稲刈りに招くなど体験学習にも積極的に協力している有機栽培志向農家です。

秋元さんは、原発事故後、村に帰還しない住民が多いことを心配し、地域の子供達が集い笑い声が聞こえる場所として利用してもらうためにブルーベリー園を開園しました。

植栽したブルーベリーは、ハイブッシュ系を中心に早生種から晩生種の14品種150本で、6月下旬～8月上旬までの長期間収穫できる品種構成となっています。収穫できるまでには、後2年かかりますが、その時に子供達が集うことを楽しみに日々管理に励んでいます。栽培は、化学農薬、化学肥料を使用しない有機栽培ブルーベリーを目指しています。



ほ場全景



大粒品種のチャンドラー

有機実証ほの紹介

《中通り》

有機農業推進室

＜二本松市 大内信一さん＞

現在、農業の6次産業化の取組みが広く進められていますが、有機栽培農家の団体でも、有機農産物を原料とした醤油づくりを検討しています。

しかし、醤油の原材料となる小麦は、赤かび病の病原菌が作る「かび毒」による穀粒汚染が問題となっています。

このため、今年是有機JASに適合した資材「イオウフロアブル」を用いて赤かび病の防除を目的に実証ほを設け、その効果を確認することとしています。

防除は小麦の開花期（5月11日）及びその8日後（5月19日）の2回行いましたが、今年小麦の出穂期前後に降雨が非常に少なかったこともあり、防除を行った区も無防除の区も赤かび病の発生は確認されませんでした。

なお、今後は、収穫した小麦の成分分析や品質調査を行うとともに、実需者に小麦を評価してもらうこととしています。



動力噴霧器による防除の様子

《浜通り》

相双農林事務所双葉農業普及所

＜相馬市 環境保全稲作研究会相馬・南相馬班長 渡辺正行さん＞

浜通り地方では、津波被災地域を始めとして、営農再開に向けて水田のほ場整備を進める地域が増えています。今後、ほ場整備後の水田へ有機栽培の導入を推進するためには、大型ほ場を想定した省力的な除草技術の体系化を確立することが必要となっています。

このため実証ほでは、牽引式除草機を活用した除草効果の確認と効果的な使用時期の試験を行っています。

今年の実証では、田植え後にチェーン除草を2回実施した後、牽引式除草機による除草を4回実施し、除草の効果と残草が収量・品質に及ぼす影響の調査を進めています。7月27日に実施した4回目の除草の後は、通常の水田と比較して畝間や7月発生雑草（優占種：コナギ）は少ない状況でした。また、水稻の生育は、機械走行による根痛みの影響も少なく順調ですが、残草が収量や品質に及ぼした影響については今後の調査の中で検証する予定です。



牽引式除草機



7月27日除草

《会津》

会津農林事務所農業振興普及部

＜磐梯町 穴澤主夫さん＞

磐梯町の穴澤主夫さんは、遊休農地や転換水田を活用して有機栽培そばを栽培していますが、今年度から、そば加工品のつなぎ原料として、小麦の栽培を開始することにしました。

小麦の播種は9月を予定していますが、作付け前にマメ科緑肥作物としてセスバニアを導入し、地力の増進を図ることとしています。

緑肥作物は6月17日に播種し、10日ほどで出芽し、7月中旬で本葉3枚、草丈7cm前後まで生育しています。今後、8月中旬に緑肥作物を圃場にすき込み、約1ヶ月ほど腐熟させ、9月下旬に小麦の播種を予定しています。

小麦の収穫は、翌年の6月を予定しており、収穫後は製粉し、そばと混合した半生そば麺の試作品を開発し、製品化に向けた検討を行う予定です。



播種1ヶ月後のセスバニア



動散を使用した緑肥作物播種作業

『水稻の有機栽培現地研修会』が開催されました。

会津農林事務所農業振興普及部

平成27年7月10日、AizuSoraの会会員を中心に、有機栽培水稻の現地研修会が開催されました。同会は、昨年に現地研修会を実施したところ水稻の収量が良好であったことから、引き続き本年も開催することとなりました。

研修会は、昨年に引き続き農業総合センター有機農業推進室手代木室長を講師に、有機栽培酒米（五百万石）を中心に会津美里町、喜多方市熱塩加納町の各会員圃場8か所を巡回。生育状況を確認しながら肥培管理や除草方法等について活発に意見交換を行いました。

巡回時の生育は、草丈が50cm、生育の早い圃場は幼穂長が1cmとなり、出穂は7月下旬と予測されてました。茎数は目標の1株20本以上を確保しており、生育は良好でした。今後は、9月に酒造メーカーを加えた現地検討会を開催する予定です。



<生育状況・今後の管理を検討>



<幼穂形成期に入った稲の様子>

《お知らせ》

○ ふくしまオーガニックフェスタ2015が開催！

9月6日(日)10時より「郡山市総合地方卸売市場 水産棟」において、

『**ふくしまオーガニックフェスタ2015**』が開催されます。

会場：郡山市総合地方卸売市場（郡山市大槻町字向原114）

<主なイベント内容>

- ・有機農産物や加工品等を販売する**オーガニックマーケット**、
- ・有機野菜を使った料理が楽しめる**コミュニティカフェ**
- ・生産者、流通・小売業者、消費者の代表による**パネルディスカッション**
- ・子供も参加できる**ワークショップ**

お問い合わせは、**フェスタ実行委員会**へお願いいたします。

フェスタ実行委員会 TEL:0243(24)1795 E-mail:fes@fushima-yuuki.net

ファーマーズマーケット@UNUへの出店

農業総合センター有機農業推進室

平成27年7月25日に、東京都渋谷区の国連大学前広場で開催されたファーマーズマーケット@UNUに、福島県内の有機農業者組織「オーガニックふくしま安達」と「会津自然塾」が出店し、有機農産物のPR・販売を行いました。

当日は、国際連合大学において福島県産農産物の魅力を首都圏の消費者に伝えるイベント「チャレンジ!おいしいふくしまIN東京」が開催していたこともあり、大変多くの方に来場していただきました。

福島県の内堀知事もブースに立ち寄り、販売されている農産物を見て回りながら生産者を激励するとともに、生産者から福島県の有機農業の振興に関する現場の意見を聞いていました。

販売した有機農産物の中では、生産者が早起きして収穫したスイートコーンやトマトが大好評で、他にもキュウリやナス、ピーマンやサヤインゲンなどの旬の野菜はほぼ完売しました。



《お知らせ》

○ 第10回農業総合センターまっりの開催

9月11日(金)~12日(土)に、第10回農業総合センターまっりを開催します。今年『**来て! 見て! 知って! 満開 ふく農しま**』をテーマに様々なイベントを実施しますので、ぜひご来場ください。

<主なイベント内容>

- ・農業総合センターで行われた試験研究の成果等を紹介する**セミナー・講演会**
- ・開所10年の歩みを紹介する**センターの10年の歴史展**
- ・マイクロバスに乗ってセンター内の施設等を見学する**ほ場案内バスツアー**
- ・県内の生産者やセンター内で栽培した野菜などを販売する**直地産地消直売展**

詳しくは、農業総合センターのホームページをご覧ください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/nougyou-centre/index.htm>